

安心という、
品質があります。

線量記録・管理システム

Radamès

患者さまに安心して受診いただくことも、医療現場に求められるクオリティとなっています。

2016年、患者さまに安心して検査を受けていただきたい、

そんな思いから線量を記録し、管理するシステムとして生まれたのがRadamèsです。

そして現在、放射線量の記録やそれに基づく撮影装置の管理を行うことが法令として定められました。

「安心という品質」を守るために成長を続けてきたアレイのRadamèsをご提案します。

安心という品質を。線量記録・管理システム Radamès

FEATURES



検像システムと連動したデータ取得

アレイの検像システム「Quartina」と連動することで、DICOM RDSRが自動で取得できます。すでにQuartinaをご利用の施設では、そこにRadamèsを追加することにより、新たなハードウェアの導入や、各撮影装置との追加接続をする必要がありません。検像が不要な場合には、自動Q/R機能を使ってPACSから線量データを取得します。



WAZA-ARiv2システム連携による臓器線量の取得

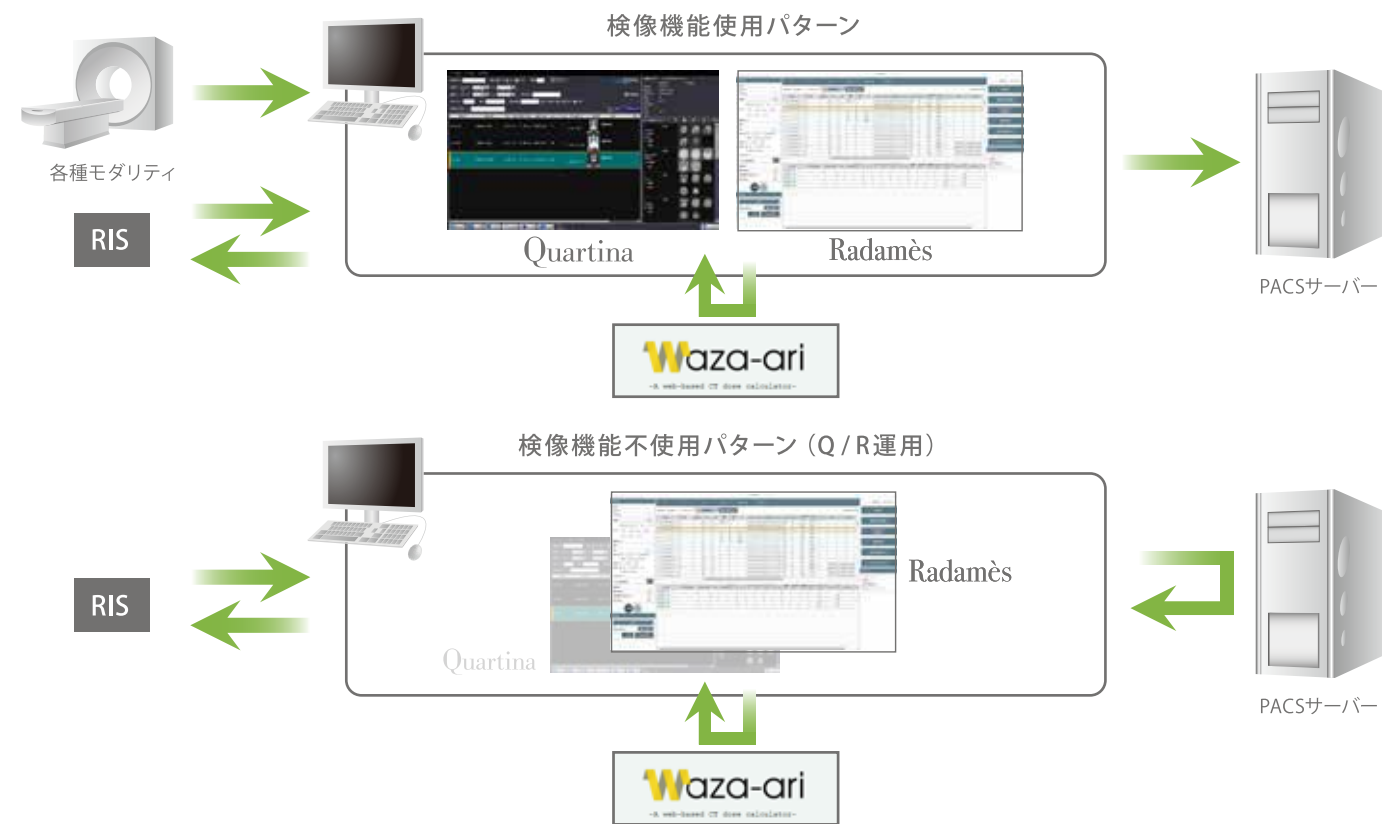
Webを使ったCT線量評価システムWAZA-ARiv2（放射線医学研究所）と連携し、撮影条件や線量情報を送信して、臓器線量の検索結果を取得・表示できます。患者線量トラッキングツールでは、患者さまごとの被ばく線量情報をタイムラインで視覚的に表現できます。



RIS連携による詳細なデータ管理

RISからオーダー情報を取得することで、撮影装置のプロトコルだけでなくオーダー単位での管理が可能になります。また、身長・体重を取得すると、DRLとの比較が容易にできます。WAZA-ARiv2から取得した臓器線量の情報をRISに送信することも可能です。

SYSTEM DIAGRAM



USER INTERFACE



シンプルな操作性

Radamèsを開発するうえで重視したのはシンプルなユーザーインターフェイスです。直感的でわかりやすい操作をご提供します。 ※CTプロトコル単位での集計画面です。



被ばく線量レポート (患者さま用)

医師用・患者さま用の2種類を用意しました。検査履歴や放射線被ばくの早見図等を表示します。施設ごとにカスタマイズが可能です。

- CT、アンギオ、核医学、マンモグラフィ、一般撮影などのさまざまな撮影装置から出力されたRDSR等から得られる線量情報を、管理・参照・集計・出力するシステムです。
- 撮影装置から送られたRDSR・画像は、検像システムが受信し、Radamèsに渡します。検像機能を使わない場合はRadamèsからPACSに自動Q/Rして線量情報を取得します。
- RISから、オーダー名、身長・体重、核医学の薬剤名を取得したり、RISに線量情報を渡すことができます。
- 施設ごとにしきい値を設定し、範囲外となった検査のみ抽出できます。また、体重で検査を絞り込むことにより、DRLとの比較が可能です。
- 医師用・患者さま用のレポートが出力できます。

 安全にお使いいただくために

- ご使用前に「ユーザーズガイド」をよくお読みください。
- 指定された環境、方法でお使いください。

指定された環境、方法に従わずに使用された場合の問題につきましては、保証によるサポートができないがございます。

お客様の声をおきかせください

【ユーザーサポートセンター】

 **0120-502-387**

受付時間 月～土 9:00～17:40／日・祝日、および弊社休業日は除く

- メールでのお問い合わせはウェブサイト受付しております
<https://www.array.co.jp/contactus/>

アレイ株式会社 <https://www.array.co.jp>

The Power of Connectivity

151-0053 東京都渋谷区代々木 3-42-10

© 2016–2024 Array Corporation

Radamèsロゴ、Array Corporationロゴは、アレイ株式会社の商標です。

この資料に記載されている会社、製品、サービスの名称は各社の商標または登録商標です。
この資料の記載内容は2024年10月現在のものです。

この資料に記載された内容、製品の仕様などは予告なく変更することがあります。

この商品に関するお問い合わせ：